

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】(ユニット1)

事業所番号	0193500147		
法人名	株式会社 健康会		
事業所名	グループホーム 輪西		
所在地	室蘭市みゆき町1丁目7番9号		
自己評価作成日	平成31年1月30日	評価結果市町村受理日	平成31年4月24日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_022_kihon=true&JigyosyoCd=0193500147-00&ServiceCd=320

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	企業組合グループ・ダイナミックス総合研究所 介保調査部		
所在地	札幌市手稲区手稲本町二条三丁目4番7号ハタナカビル1階		
訪問調査日	平成31年2月19日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

個別ケアに取り組むため、Eシートを活用し、本人の思いや言葉を大切に、計画書に反映しています。又理念を基本と考え会議やカンファレンスの書式に書き込み振り返るようにし、利用者様が笑顔になっているか？我が家のように暮らせているか？計画書や日々のケアを確認合っています。また、定期的に学習会・テスト等を行ない、資料や勉強する事も多くなり、ケアの質の向上に努めています。今年からは不適切なケアが、身体拘束、虐待につながると考え、グレーゾーンテストや、接遇、身体拘束適正化委員会も3ヶ月に1回行なって、より良いケアが出来るように頑張っています。近くには公園やお店が近いので、自由に散歩したり、買物にも行っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当事業所は、室蘭市の東室蘭輪西地区の市街地に位置し、2階建て2ユニットのグループホームである。JR輪西駅から徒歩圏内、近隣にドラッグストアなどの商店があり、利便性のよい立地である。法人は医療法人を母体として、認知症高齢者グループホームを始め、医療系有料老人ホームや訪問看護、訪問介護、通所介護等を旭川市を拠点に札幌市や道内及び首都圏にも展開するなど積極的な高齢者介護の支援をしている。当事業所は、母体が医療法人な為、24時間の医療支援体制が構築されており、重度化や終末期にも積極的にチームで対応している。広くゆったりとしたリビングの大きな窓からは眺望もよく、利用者が暮らしていた街並みを四季を通じて感じられる。開設5年目を迎え、職員も経験を積み、地域との関わりも広がり、事業所主催の秋のバーベキュー祭りには、家族や地域の方が多数参加して盛大な催しとなり、地域の一員として認識されている。職員も利用者も笑顔で過ごしているアットホームな事業所で、これからも期待したい。

V サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取組を自己点検した上で、成果について自己評価します

項目	取組の成果		項目	取組の成果	
	↓該当するものに○印			↓該当するものに○印	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向をつかんでいる (参考項目:23、24、25)	○	1 ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらい 3 利用者の1/3くらい 4 ほとんどつかんでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9、10、19)	○	1 ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18、38)	○	1 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2、20)	○	1 ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1 大いに増えている 2 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36、37)	○	1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11、12)	○	1 ほぼ全ての職員が 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30、31)	○	1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1 ほぼ全ての家族等が 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない			

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念を作り、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	カンファレンスや勉強会の書式に書き込み、理念に沿ったケアが出来ているかを確認し合い、計画書に反映しています。	事業所の理念は、事業所内に掲示して、利用者や家族にも周知するよう努めている。職員は、カンファレンスや勉強会にて随時振り返り、職員間で共有し実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	食材や日用品等の買物を一緒に出掛けています。今は雪があり散歩は出来ませんが、向かいのお宅の庭の花見にいたり近所の方と交流もあります	地域の行事に参加したり、事業所内のひな祭りやハロウィンには、近隣の幼稚園の園児が来訪し、利用者の楽しい行事となっている。また、事業所主催の秋のバーベキュー祭りには家族や地域の方が多数参加して、地域の交流の場となっている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	今年は大沢町会で、認知症について話やグループホームの話しをしました。地域の貢献にも力を入れています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回開催して、ホームでの勉強会の話しや外部評価の結果等取り組んでいる事を毎回話して意見交換しています。今年の9.8の災害時の備品確認の話し合いの時町会の方から意見をたくさんもらって、取り入れています。	運営推進会議は、家族や市高齢福祉課担当者、地域包括支援センター担当者、町内会役員、民生委員などが参加して、定期的に開催し、運営状況の報告や災害対策、意見交換、情報交換を行いサービス向上に活かしている。	運営推進会議は、行政の担当者や地域の方などが参加して開催しているが、家族の参加が少ない為、家族の参加を促すような企画を検討し、実施することを期待する。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議がある時は、案内を出して、来ていただいています	運営推進会議に室蘭市高齢福祉課担当者や地域包括支援センター担当者が参加しており、定期的に意見交換や情報交換しており、認知症についての普及活動など連携して行うなど、協力関係を築くよう取り組んでいる。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束適正化委員会を立ち上げ、3ヶ月に1回勉強会をしています。夜間は防犯の為、遅番者が帰った後施錠します。朝は新聞が来る5時半くらいに開錠してからは、鍵をかけることなくケアしています	事業所内に身体拘束適正化委員会を設置して、3ヶ月に1回検討会を行っている。法人では定期的に研修会を開催しており、指針やマニュアルを整備して、事業所内でも研修会を行い、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	勉強会や研修会に参加したり、テストも行ない、防止に努めています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修に参加して、勉強しています。年に1回はどこかで行なわれる研修会に参加するようにして、学ぶ機会を作っています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には、必ず契約書を説明して、改定時は作り直してご家族様に説明しています。又解らない事がありましたら、いつでもご連絡下さいと言付け加えてお話ししています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関にご意見箱を設置してたり、来訪時の時にはこちらから声を掛け、話しやすい環境作りもしています。	ホーム便りは2ヶ月に1回発行し、運営状況の報告を家族にしている。利用者毎の手紙も2ヶ月に1回家族に送付して生活状況を報告している。玄関に意見箱を設置しているが、家族からの意見や要望は、来訪時に殆ど聞き取り運営に反映している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	面談時に意見交換したり、会議の時に業務等に意見を聞いています。	ユニット会議は毎月1回行っており、全体会議は適時に行っている。個人面談は、年2回定期的に行っており、職員からの意見や提案は運営に反映している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	今年度は基本給の見直しがありました。ラダー評価や面談をして職員の向上に努めています		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	勉強会・テスト・法人研修会・外部研修会に参加しています		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組をしている	GH室蘭連絡に協議会に参加しています。他にはケアマネ会や、外部研修会に参加して情報交換しています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	計画作成や管理者が面談を行ない、お話を聞いて不安な事や好きな事と等聞いて情報を収集してスタッフに伝えて、本人が入所してきた時に不安にならないように努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様にも要望等をお聞きして、取り入れご家族様にも不安にならないように努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	申込みの段階の面談時、空きが無く入れない時は、他にも申込みも進めています。急ぎの時など空き情報も教えています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	年末のしめ飾りの飾り方を聞いて一緒に飾ったり、得意な調理等一緒に行ない教えてもらう事もあります。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時には、様子を報告したり、一緒に削り絵を楽しんでもらったり、年1回のBBQを開催しお家族様やお孫さんたちにも参加して頂いています		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人の通っていた床屋に行ったりお友達等会いに来てくれています	地元出身の利用者が殆どな為、友人や知人の来訪が多い。知人と一緒に外出や家族と墓参りなどに出掛けている。家族の入居している施設や馴染みの床屋には、職員が同行して支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日常生活の中で、掃除や調理は出来る方々に声を掛けて一緒にできるようにスタッフが段取りをしたり、関わりを持たない利用者様にはスタッフが声かけし孤立しないようにしています		
22		○関係を断ち切らない取組 サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所時には、困ったことがあったらいつでも連絡くださいとお話しています。退去した後、ご家族様が様子を報告に来てくれたりもしています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	Eシートを使って本人の思いや話した事などを聞き本人の思いに添った支援にしています。	利用者毎の担当者がEシートを活用して、日常生活での会話や本人の思いを3ヶ月毎に検討して、介護計画の作成に反映している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ケアマネージャーや相談員から情報をもらったり、ご家族様やご本人からも聞いて情報収集しています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	生活シートに1日を通して記録して、スタッフ間で共有しています		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	モニタリングは担当を決めてカンファレンスで毎月話し合っています。ご家族様にも要望を来て計画書に反映しています。Eシートを使って皆で話しあつて決めています	利用者毎の担当者がモニタリングして、家族からの意見や要望もまとめてカンファレンスで検討し、Eシートを活用して、計画作成担当者が利用者の現状に即した介護計画を作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	支援経過に記録しています。また連絡ノートも活用しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスにとられない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	チラシを見てラーメン食べたいと話され食べに行ったり、買物に出かけています。家に帰るとい方にも止めずに一緒に行く事もあります。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	演舞を観に行ったり、図書館に行ったり、ドライブツアーで寿司や甘い物等好みの物を食べに行ってます		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	今まで通っていた病院に行ってもらっていて、各利用者様やご家族様に合わせています。往診に来てもらえる病院や24時間対応の病院とも連携しています。	かかりつけ医は、入居前からの病院と協力医療機関を利用しており、協力医療機関の往診は月1回で、看護師は週1回の訪問で24時間体制の適切な医療を受けられるよう支援している。また、歯科医の往診が月1回で、歯科衛生士の口腔ケアは週1回行っている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎週1回訪看のラウンドに来てもらって、相談や助言をもらっています。聞き忘れがないようメモや訪看記録も活用しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている、又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ムンテラに参加したり、入院時には、こちらから情報提供してます。病院に面会に行き情報ももらって早期退院に努めています		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者とともにチームで支援に取り組んでいる	契約時看取りの説明もお話しています。24時間対応の病院とも連携を取っています。	入居契約時に重度化や終末期についての対応を本人や家族に説明し同意を得ている。重度化した場合は、主治医を中心に本人や家族と再度打ち合わせして意向を確認し、看取りの場合は意向確認書を交わし主治医の指示の下、チームで連携して支援に取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	ホームで勉強会をしたり、。緊急連絡網やマニュアルを見える所に貼っています		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	マニュアルを作成。年2回避難訓練を行なっています。町内の方も連絡網に登録しています。	火災の避難訓練は、消防署の指導の下、地域の方の協力により、マニュアルや備品、備蓄を整備して、年2回定期的に実施して災害対策を行っている。	火災の避難訓練は、年2回定期的に行っているが、地震や台風、土砂崩れなどの自然災害のマニュアル作成や避難訓練についても対策の検討を期待する。
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	接遇の勉強会やテストをして取り組んでいます。	人格の尊重とプライバシーについては、法人内の定期的に行っている接遇研修会に参加したり、事業所内でも定期的に研修会を行って学んで対応している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	Eシートを活用したり、個別ケアを行ない本人の思いや希望を实践できるように支援しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望に沿って支援している	本人が寝たいと言ってる時は朝食をずらしたり。夜間も寝たい時間に寝てもらっています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	お風呂で着替えを準備する時に選んでもらっています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	好みのメニューを決めて一緒に作ったり、また毎日一緒に調理や準備をしています。	料理は職員が担当しており、下準備や片付けなどは利用者が手伝っている。行事食は、すき焼きパーティーやちゃんちゃん焼き、料理のバイキングや巻き寿司などで、外食は、回転すしやラーメンなど楽しい食事を支援している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	生活シートに記録しています。記録を見て足りない人には好みの水分をのんでもらったり、好みのおかずを提供しています		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の口腔ケアを声掛けしています。一人で出来ない方はスタッフがついて行きます。毎週1回歯科衛生士、月1回歯科医が来ています(希望された利用者様)		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	記録を見て排泄の声掛けや誘導しています。紙パンツから布パンにパットに変えた方もいます。	生活の記録簿から利用者毎の排泄パターンを把握し、職員間で共有して、表情や仕草を見ながら声掛け誘導して、トイレでの排泄の自立に向けた支援を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	野菜類を多く取り入れたり、乳製品を取り入れています。		
45	17	○入浴を楽しむことのできる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に沿った支援をしている	ゆっくり浸かりたい方や、好みの湯温をきて、入浴してもらっています。	入浴は、週2~3回位で、朝シャワーの方や夜に入浴する方もおり、利用者の個々の状況に沿った支援をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人一人眠たい時間に寝てもらったり、日中も居室で休息を取る方もいます。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬情を台帳につけていつでも確認が取れるようにしています。個人の服薬ボックスにも薬の名前が書いています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	毎晩酌する方、好みの飲み物を入れて飲んでもらっています。パズルなど個々に楽しんでもらっています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望に沿って、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	好みのメニューを決めて一緒に作ったり、また毎日一緒に調理や準備をしています。	近隣の散歩やスーパーでの買い物など日常的に支援している。外出行事は、お花見や紅葉の見学、道の駅などへのドライブでアイスクリームを食べたり、恒例のRUN伴の参加や見学、焼き肉パーティーなど季節に応じた外出の支援をしている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	全てホームで管理するのではなく、自分で財布を持って頂いてる方もいます。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望のある方は電話してもらっています。携帯電話してる方もいます。又年賀状の返事を書いてもらいました。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節毎の飾りつけやトイレの場所がわかるように貼り紙をして場所がわかるようにしています。	共用空間のリビングと食堂は、広くゆったりとしており、採光や風通しもよく、季節を感じる飾りつけや行事の写真など楽しい思い出の掲示がある。日中は、見晴らしのいい大きな窓があるリビングで、利用者の殆どがゆっくりと寛いで過ごしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	奥に椅子を置いて、空間を作って、一人に慣れる場所を作っています		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入所前に馴染みの家具などを持ってきてもらえるように話をしています。箸や茶碗やカップなども使っているのを持ってきてもらっています。	居室には、収納ロッカーとベットが設置されており、温度や湿度も管理している。利用者は使い慣れた家具や馴染みの物を持参して、居心地よく過ごせるよう工夫している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレの張り紙をしたり、見ると所に、ほうきやちりとり・ポットなどおいて、ご自分使える工夫をしています。手摺りや階段にも滑り止めをしています。		